

# 「森の教室」の開催について

## 1 「森の教室」とは、

森林を将来にわたって維持していくことは、一部の人々だけで担っていく課題ではなく、世代、地域を超えて取り組むべき重要な課題です。

そこで、全国の幼稚園や保育所を対象に、次世代を担う子どもたちに対して、古来より私たち日本人が森林と深く関わり生活してきたことや、森林がもつ様々な役割や大切さを伝え、教える「森の教室」を行います。

さらに、園児だけに留まることなく、森林の大切さや森林を守り・育てることの必要性を「実感、実践できる場」とし、園児から親・家族へ、そして地域へと広がる展開を行い、人々に対して「国土緑化運動」の浸透、拡大を図ることを目指します。

### 「森の教室」が掲げる活動目標

1. 子供たちに「いのち」の大切さを教えるとともに、大人までの幅広い年代が参画する地域ぐるみの運動を目指す。
2. 森づくりを通じて、未来につなげるべき、我々の環境への意識づくりを子供→家族、地域→社会へと、広げる。
3. 緑豊かな環境を次世代に受け継ぐために、途絶えることのない緑化運動を目指す。

## 2 概要

- (1) 室内で、キャラクターショーにより、森づくりの名人「どんぐりくん」などと一緒に、森の楽しさや森の役割を学びます。
- (2) 屋外で、「どんぐり」について説明を受け、園庭のスペースやプランターやポットに「どんぐり」を蒔き、その後「どんぐりの苗木」づくり行ってもらいます。  
(季節により変更があります。)
- (3) (1) のキャラクターショーや (2) の説明については、地域の状況等により、オンラインで実施します。
- (4) 園児たちが育てた「どんぐりの苗木」は、約2年後に園庭に植樹したり、身近な森づくりに活用します。
- (5) 株式会社ファミリーマートの「夢の掛け橋募金」からの緑の募金を活用した事業として、地域の店舗の参加・協力も得て実施します。
- (6) 主催は、国土緑化推進機構及び都道府県緑化推進委員会とし、株式会社ファミリーマートの特別協力として開催します。

### 3 今後の展開について

- (1) 全国の幼稚園等を対象に実施することとしているところであり、未実施の県での優先開催、全国植樹祭や全国育樹祭の関連行事としての実施などを検討します。
- (2) 園児たちが育てた苗木による森づくりを地域住民や子どもたちなどの参加により実施します。（「子どもたちの未来の森づくり事業」を活用。）
- (3) 都道府県緑化推進委員会には、「森の教室」について幼稚園等への周知をしていただき、開催希望の幼稚園等があれば、ご連絡をお願いします。なお、開催する場合は、単発ではなく、連続して2～3カ所の開催としたいと考えます。

○園に訪れて開催した時の様子





# 頑張れみんなの森！働き学ぶ

## オンラインで園児が「森の教室」

日高川町



キノビーやオンラインのキャラクターと森の働きを楽しく学ぶ園児

ファミリーマート店頭募金「夢の掛け橋募金」の協力で、国土緑化推進機構と

県緑化推進委員会が共催で実施する全国巡回型の「森の教室」が、8日から日高

川町内3保育所でオンライン開催。初日のかわべ保育所では4、5歳児の103人が、映像で流れるキャラクターと一緒に森の働きを楽しく学び「頑張れ！みんなの森」と元気な声でエールを送った。

教室は「夢の掛け橋募金」を活用して10年前から開催。毎年、全国各地をキャラクターが訪れてショーなどを楽しむが、今年はコロナ禍の影響でオンラインで東京のスタジオをつないで行われた。9日なかつ保育所、10日みやま保育所でも行う。

かわべ保育所ではスクリーンに、お姉さんと大きな絵本、「ファミタン」と「どんぐりくん」のキャラクターが登場。「人がはいた悪い空気(CO2)を森が吸って、いい空気を出してくれます」「たぐさんの雨が降っても森が地面に雨をためて川に流してくれて土砂崩れを防いでくれます」「きれいな水を作ってくれ、海草や魚、貝にとっても大切です」と、分かりやすく森の働きを紹介した。

森にはどんな生物が住んでいるのか、木が大きくなるために必要なものなどを学んだほか、会場には植樹祭のシンボルキャラクター「キノビー」も登場。園児たちが一緒に感謝の気持ちを含めた森のダンスを踊り、大きな声で「ヤッホー」「フレフレ！みんなの森」と元気にエールを送った。教室のあとはウバメガシの実をプランターに植え、園児たちが育てていく。



# 楽しく遊んで勉強

## なかつ保育所で森の教室

**日高川**

次世代を担う子どもたちのZOOM(ズーム)で森が持つつなぎ、園児24人がどろんぐりくんと一緒に森のダンスを踊った。高川町高津尾のなかつ保育所(橋爪富士子所長)で開かれた。

進行役の森のお姉さんからは、森の木がきれいな空気を吸っていい空気を吐いてくれていることを教えてくれた。年長児の藤原快都君は「土砂崩れから守ってくれていることがわ



モニターのどんぐりくんと楽しく踊る園児たち

かった、岡田桃子ちゃんはお水をきれいにしてくれていることがわかった、和田珠立えいた君、関陽仁(ひろと)君、林郁美ちゃんはどろんぐりの水やりが楽しみです。笑顔で話していた。

森の教室は県緑化推進会と国土緑化推進機構が主催。ファミリーマートの啓発募金、夢の架け橋募金を活用して2012年から始まり、県内では今回の日高川町が初めて。かわべ保育所は8日、みやま保育所は10日に開かれた。

○オンライン開催とどんぐり植えの様子

